

東日本大震災による水産業の被災実態と復興の足がかり

和歌山県における水産業の被害状況

光 永 靖

日本水産学会企画広報委員（近畿支部）

和歌山県における水産業の被害状況は和歌山県農林水産部水産局水産振興課 (<http://www.pref.wakayama.lg.jp/prefg/071000/index.html>) により取りまとめられている。資料提供「平成 23 年（2011 年）東北地方太平洋沖地震による津波被害状況（水産業関係）の取りまとめについて」の第 1 報 (<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/bousai/shiryo.php?sid=12825>) は平成 23 年 3 月 16 日 17 時現在、第 2 報 (<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/bousai/shiryo.php?sid=12841>) は平成 23 年 3 月 18 日 10 時現在の状況を伝えており、その後は大きな変更点はないようである。

各漁協（市町村）別に記載がなされ、海南市漁協（海南市）で 1.3 トン漁船転覆（1 隻，1,200 千円）。由良町漁業（由良町）で釣り公園栈橋破損（1 件，5,000 千円）。和歌山南漁協（田辺市，白浜町）で養殖用筏アンカーロープ破損（1 経営体，2,000 千円），漁船損傷（3 隻，300 千円），養殖魚類〈マダイ〉（1 経営体，5,000 千円）。和

歌山東漁港（串本町，那智勝浦町）で魚類養殖施設破損（21 経営体，75,544 千円），養殖魚類〈マダイ，クロマグロ他〉（21 経営体，815,933 千円），定置網破損（3 経営体，24,440 千円），定置網漁獲物（3 経営体，1,500 千円），貝類養殖施設破損（5 経営体，3,883 千円），養殖貝類（5 経営体，6,900 千円），漁船転覆・損傷（2 隻，610 千円）。太地町漁協（太地町）でイルカ用生け簀破損・変形（2 経営体，2,900 千円），カマイルカ 12 頭死亡（2 経営体，12,500 千円），ハンドウイルカ 1 頭死亡（1 経営体，2,300 千円），イセエビ流失（30 kg，180 千円）。被害合計額は 960,190 千円であった。

復興への足がかりとしては，漁業経営に一時的な支障を受けている県内の漁業者の皆様方の資金繰り支援として，県が利子補給及び保証料補助を行う「漁業振興資金」の融資が開始されている (<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/bousai/shiryo.php?sid=12874>)。